

石川華十郎 戦前から戦後にかけて、一貫して国家社会主義者として活動した。日本で最も早くナチスを紹介。  
いしかわじゅんじゅうろう  
Bushidou・1899 = 岩手郡玉山村大字日戸(盛岡近郊)で、比較的裕福ながら日清戦争犠牲者のあった家に生まれる。

日露戦争終 1905 = 6歳 :

アヲチ 創刊 1908 = 9歳 :  
伊藤博文暗殺 1909 = 10歳 : 準十郎らを盛岡市の学校に通わせるため、一家で盛岡市油町に転住。

明治天皇没 1912 = 13歳 :

ロシア革命 1917 = 18歳 :  
本格政党内閣 1918 = 19歳 : 盛岡中学を卒業。兄金次郎の援助を受けて、  
大杉仁彦 1919 = 20歳 : 早稲田大学予科に入学。高島素之の知遇を得て社会経済研究を始める。 学内に、荒垣秀雄らと(新聞学会)を創設し(早稲田大学新聞)を発刊。(読書会)を牽引。

原敬首相暗殺 1921 = 22歳 :

護憲三派圧勝 1924 = 25歳 : \*政経学部を卒業。高島の主宰する(急進)で、マルクス主義国家論を批判。  
治安維持法 1925 = 26歳 : 「マルクス経済学入門」を訳述出版。  
円本時代始 1926 = 27歳 : 「機能的社会国家論」を訳述出版。  
金融恐慌 1927 = 28歳 : 「マルキシズムの根底」を訳述出版。  
共産党事件 1928 = 29歳 : 高島素之の死に立ち会う。  
世界恐慌 1929 = 30歳 : 「マルキシズム認識論」を翻訳出版。

満州事変 1931 = 32歳 : 赤松克麿や津久井龍雄らと日本社会主義研究所を結成し、機関誌(日本社会主義)創刊。  
五一五事件 1932 = 33歳 : \*{(日本社会主義研究所パンフレット)第3輯として「マルクス社会主義より国家社会主義へ」を発行。日本国家社会主義学盟を結成。{(日本社会主義)を{(国家社会主義)と改題。日本社会主義研究所と日本国家社会主義学盟を合体改組して、日本国家社会主義学盟を結成。

国際連盟脱退 1933 = 34歳 : 日本主義に傾倒した赤松らと決別し、  
帝人疑獄事件 1934 = 35歳 : 別府峻介と「マルクスの歴史社会並びに国家理論(上巻)」を翻訳出版。\_(国家社会主義)廃刊。 創設した大日本労働組合協議会を支持母体に、大日本国家社会党を結成し、党首となるも、

芥川直木賞始 1935 = 36歳 :

日中戦争始 1937 = 38歳 : 時勢が国家社会主義運動から日本主義運動に転換するに随い、党勢は下火となる。  
大日本国家社会党が解党に向かい、\_政治活動の第一線から退かざるを得なかったため、日本経論学盟を設けて理論研究。翌年にかけて、同学盟から(国社)を発行。  
後、国際日本協会で活躍。

日米開戦 1941 = 42歳 : 国際日本協会から「ヒトラー"マイン・カンフ"研究」全3冊を出版、  
創価学会検挙 1943 = 44歳 : 同合冊再版。\_(満洲日報)編集顧問・建国大学特別講師として渡満。  
年金+総武装 1944 = 45歳 : 一時帰国し、東京大空襲に遭遇。  
敗戦 1945 = 46歳 : 別府峻介の協力を得て、\*満州で「歴史の方向侵すべからず」を発行。ソ連侵攻で、新京・奉天を経由し、朝鮮定州で敗戦を迎え、帰国。公職追放となる。  
極東裁判判決 1948 = 49歳 : 「共産主義国家論批判」を出版。右翼雑誌を中心に、旺盛な共産主義批判を展開。  
三大事件 1949 = 50歳 : \_解除となり、早稲田大学政経学部教授に就任。同学部の研究雑誌を中心として社会主義研究を行う。

独立回復 1951 = 52歳 :

TV放送始 1953 = 54歳 :

安保闘争 1960 = 61歳 :

全国総合計画 1962 = 63歳 : \*病気が悪化し、早大教授を辞任。  
TV宇宙中継始 1963 = 64歳 : 「社会主義論稿」を出版。  
\_以後、文筆業を中心に共産主義批判を行う。

ドミノック 1971 = 72歳 :

石油ショック 1973 = 74歳 :

貿易摩擦問題 1980 = 81歳 : \_没した。

インターネット,